

日本を除くアジアの企業の株式等で運用する投資信託証券に投資を行う投資信託です。

属性 投資信託

対象 アジアの企業の株式等で運用する投資信託証券

利回り 3.64%

概要

「HSBCアジア・プラスマザーファンド」を通じて、日本を除くアジアの企業の株式・米国預託証券・グローバル預託証券等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指す。5月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	CNY 他
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元: HSBC投信株式会社

Web: <http://assetmanagement.hsbc.com/jp>

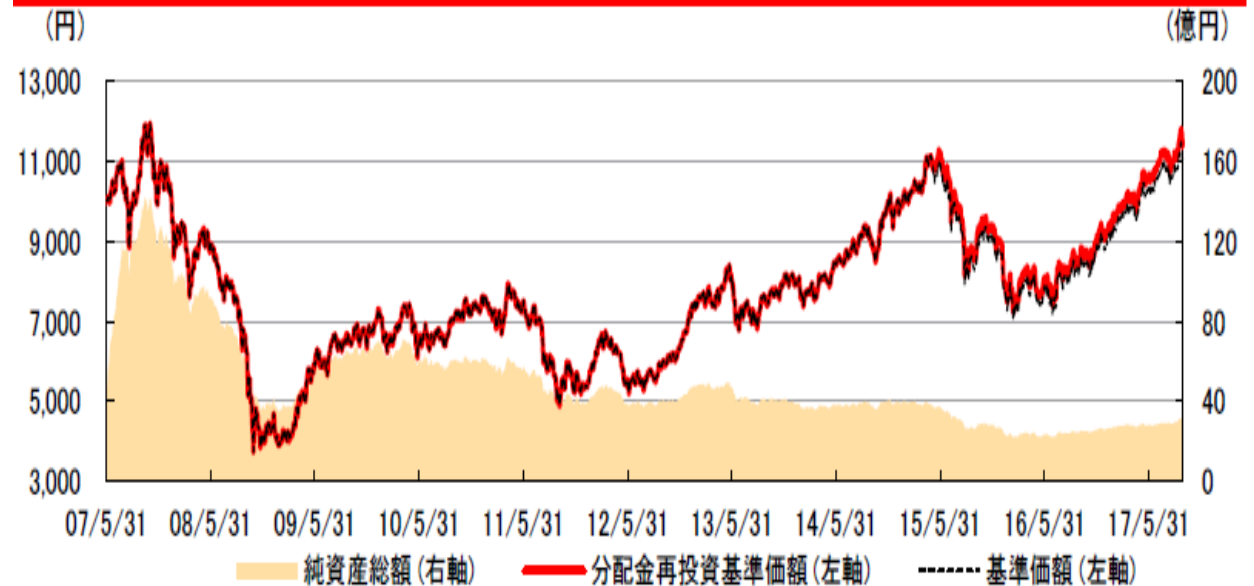
所在地: 東京都中央区日本橋3丁目11番1号

HSBCビルディング

Summary

9月のアジア株式市場は、代表的な株価指数であるMSCI AC アジア（除く日本）インデックス（米ドルベース）が前月末比1.0%下落。米国の年内利上げ観測の高まりを背景とした米国国債利回りの上昇と、米ドル高の進行が投資家心理の重しとなった。個別市場については、中国では不動産投資規制強化への懸念、インドでは利下げ観測の後退や財政赤字拡大への懸念などがマイナスに働いた一方、フィリピンでは下院で税制改革法案が通過したことが好感され、株価の上昇に繋がった。本投資信託では、世界経済が緩やかに回復へ向かう中、アジア新興国の企業収益は改善が見込まれており、これらが株式市場の支援材料になると予想。現在、国・地域ではインド、香港、セクターではヘルスケア、通信などを選好しており、引き続き、高い収益性が見込まれ、割安感が強い国・地域、セクター、銘柄を厳選していくとしている。以上を踏まえ、リターン面を「C+」、リスクを「4」と判断する。

基準価額と純資産総額の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。